

## 湖西地域の県立高校の魅力化について(案)

### 1 県立高校を取り巻く状況

#### (1) 高校魅力化に向けた最近の主な取組

- 高校再編計画(平成24年12月策定)に拠る県立高校の魅力化
  - ・ 湖東地域、湖北地域において再編統合を実施
  - ・ 学科改編等により各地域において魅力と活力ある学校づくりを推進 等
- 湖北地域(虎姫高校)における国際バカロレア・ディプロマプログラム(IBDP)の導入

#### (2) 県内中学校卒業者の推移 **資料1**

- 14,226人(H24) → 14,299人(H30) ※ほぼ横ばい
  - 14,299人(H30) → 13,288人(R3) → 12,384人(R14)
- ※ 平成30年度から令和3年度までに▲1,011人(約25学級相当の減)

### 2 湖西地域2校を取り巻く現状と課題

- 地域内生徒数の減少(総合学科への改編時[H12]と比較)
  - ・ 高島11学級 → 5学級(H31～)、  
安曇川9学級(普3・総6) → 4学級(普1・総3)(H30～)
- 地域内中学生の学校選択の変化 **資料2**
  - ・ 地域内で進学する割合は、近年、他地域に比べ低下傾向が顕著
- 学校活力の低下の懸念
  - ・ 地域外の学校選択の加速化 **資料3**
    - 近年、進学実績のある大津・湖南地域の県立高校や、県内外の部活動で実績のある高校等へ進学する中学生が増加
    - 2校の現在の学校規模の維持が想定以上に早い段階で困難になる予想
  - ・ 安曇川高校の定員未充足が深刻な状況 **資料4**
    - H31入試: 2次選抜後、安曇川高校普通科5年連続、総合学科4年連続
    - 1次選抜後、普通科13年連続(H19～)、総合学科6年連続

### 3 湖西地域2校の魅力化

#### (1) 対応の必要性 ～喫緊の課題への対応～

- これまで教育内容の充実に努め、高校の教育力の向上を図るも定員は充足せず  
→ SSH連携(H26-27、H30-R2)、ICT活用(H30-R2)等
  - 令和3年度から、地域内生徒がさらに減少する中、さらなる定員未充足により活力が失われることを懸念
  - 指定事業や募集定員削減等による課題対応ではなく、喫緊の課題として、できる限り早急に抜本的な改革が必要と思料
- ※ 平成12年度に安曇川高校商業学科を総合学科に改編して以後、大きな改革は未実施 **資料5**

## (2) 対応の方向性（案）

湖西地域の高校は2校という地域性を考慮し、分散している学びを整理して地域における両校の特色を明確化し、その魅力化に一層取り組むことで、中学生が選択する学校づくりを進める。

### □ 具体的活性化策

#### ■ 普通科の在り方を見直し、学科改編を実施

- ・ 安曇川高校普通科の学びは高島高校に引き継ぎ、進学指導に重点を置く新たな学科で特色化（安曇川高校普通科は募集停止）

#### ■ 総合学科の系列を見直し、新たな系列で学びを充実させ魅力化

- ・ 生徒の高校卒業後の進路状況を踏まえた新たな学びの系列を設置

高島高校						安曇川高校				
【平成29年度】										
普通科						普通科	総合学科			
1学級	2	3	4	5	6	1学級	1学級	2	3	4
【平成30年度】										
1学級	2	3	4	5	6	1学級	1学級	2	3	1学級減
【令和元年度】										
1学級	2	3	4	5	1学級減	1学級	1学級	2	3	
↓						↓				
【令和3年度以降】										
新学科	普通科					普通科	総合学科（新系列設置）			
1学級	1学級	2	3	4		募集停止	1学級	2	3	

\* 令和3年度以降の募集定員（学級数）は想定数であり、中学校卒業予定者数や進学志望の動向等を総合的に勘案して策定

## (3) 今後の進め方

今後、関係者等からの意見を反映させながら具体的な魅力化の方針を検討  
10月頃 「(仮称)湖西地域県立高校魅力化方針」策定

## 4 将来の県立高校の魅力化に向けた検討

□ 将来の県立高校の在り方に関する検討の方法について、今年度中を目途に整理

※ 高校再編計画（平成24年12月策定）の計画期間はおおむね10年間

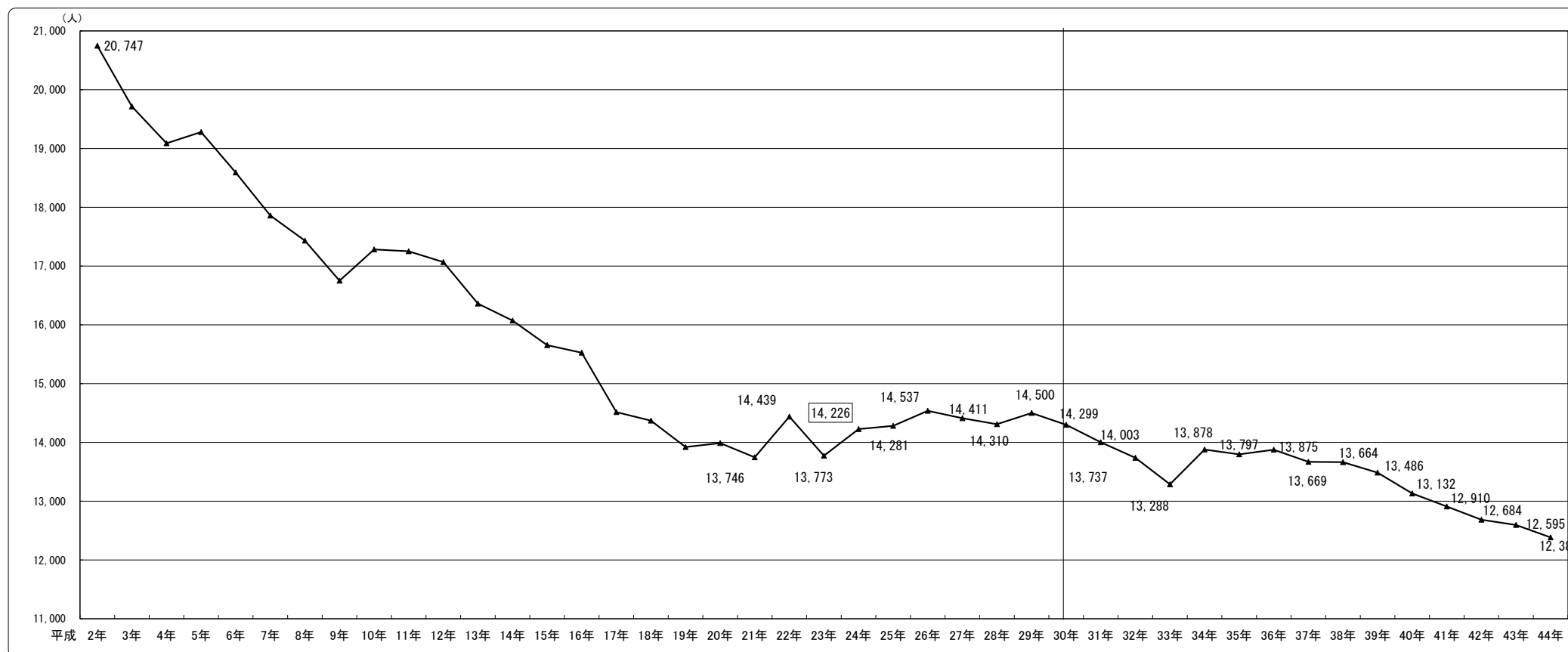
資料1 中学校卒業(予定)者数の推移(全県)

	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年													
全県計	20,747	19,715	19,088	19,279	18,592	17,859	17,432	16,750	17,283	17,251	17,068	16,361	16,073	15,655	15,526	14,515	14,370	13,922	13,988	13,746	14,439	13,773	14,226	14,281	14,537	14,411	14,310	14,500	14,299	14,003	13,288	13,878	13,797	13,875	13,669	13,664	13,486	13,132	12,910	12,684	12,595	12,384

現中3 現中2 現中1 現小6 現小5 現小4 現小3 現小2 現小1 現5歳 現4歳 現3歳 現2歳 現1歳

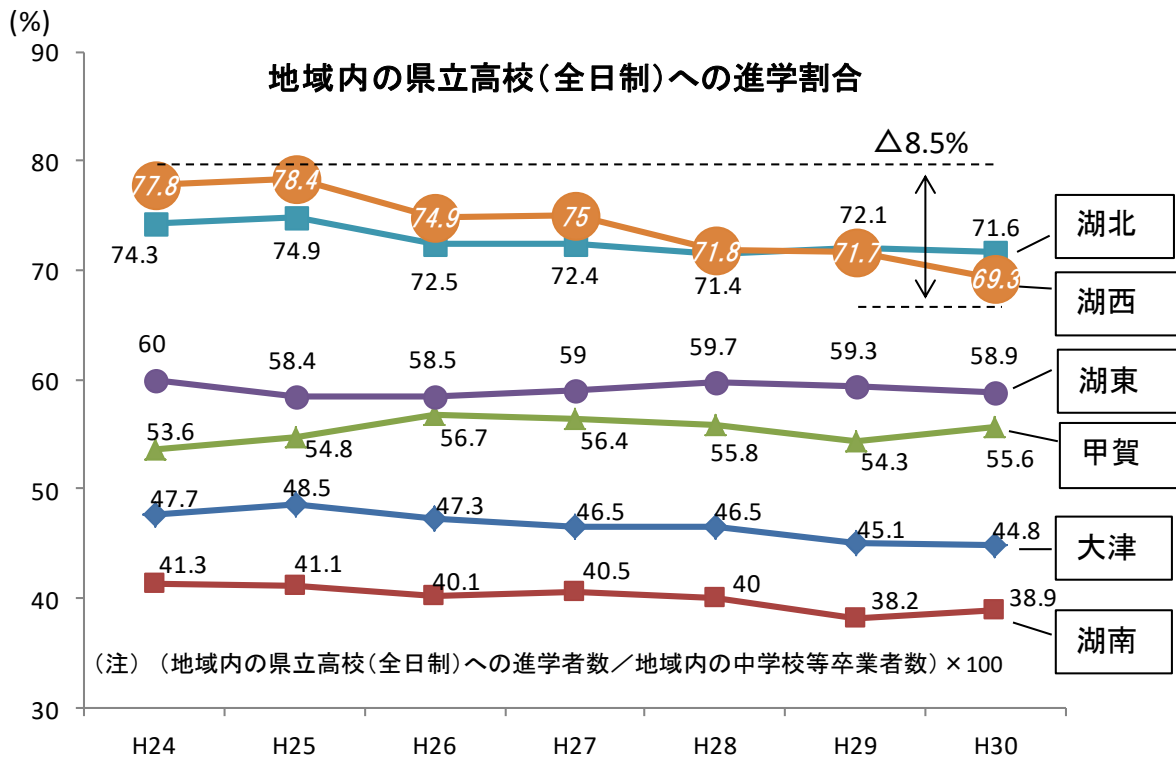
31年	32年	33年	34年	35年	36年	37年	38年	39年	40年	41年	42年	43年	44年
14,003	13,737	13,288	13,878	13,797	13,875	13,669	13,664	13,486	13,132	12,910	12,684	12,595	12,384

▲ 296 ▲ 562 ▲ 1011 ▲ 421 ▲ 502 ▲ 424 ▲ 630 ▲ 635 ▲ 813 ▲ 1167 ▲ 1389 ▲ 1615 ▲ 1704 ▲ 1915



※ 平成31年～平成39年は、平成30年5月1日の学校基本調査による現員  
 ※ 平成40年以降は、平成30年4月1日付けの県人口推計(統計課)による

資料 2 【湖西地域の中学校卒業者の高島・安曇川両校への進学】



資料 3 【湖西地域の中学校卒業者の進学先推移】

	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
高島市内中学校卒業者(人)	514	(▲19) 495	(▲4) 491	(▲11) 480	(▲4) 476	(▲13) 463	(▲56) 407
高島高・安曇川高への進学	400	388	368	360	342	332	282
(%)	77.8%	78.4%	74.9%	75.0%	71.8%	71.7%	69.3%
高島高・安曇川高以外への進学(人)	108	102	119	116	130	127	122
(%)	21.0%	20.6%	24.2%	24.2%	27.3%	27.4%	30.0%
湖西地域以外の県立高(全日)(人)	41	29	51	50	53	48	55
(%)	8.0%	5.9%	10.4%	10.4%	11.1%	10.4%	13.5%
県内私立高(全日)(人)	22	26	24	31	29	33	21
(%)	4.3%	5.3%	4.9%	6.5%	6.1%	7.1%	5.2%
県外高(全日)(人)	9	18	23	16	17	18	15
(%)	1.8%	3.6%	4.7%	3.3%	3.6%	3.9%	3.7%
その他(定通、高専、特支)(人)	36	29	21	19	31	28	31
(%)	7.0%	5.9%	4.3%	4.0%	6.5%	6.0%	7.6%

(注) 各年度の中学校等卒業後進路状況調査結果による。

資料4 【安曇川高校の定員割れの状況】

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
普通科	募集定員(学級数)	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
	1次定員未充足	12	6	14	10	1	1	22	4	5	10	11
	最終結果	7	1	7	1	—	—	15	2	2	8	5
総合学科	募集定員(学級数)	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3
	1次定員未充足	—	—	4	—	—	10	22	18	42	35	29
	最終結果	—	—	3	—	—	6	—	8	34	34	26

# 滋賀県の高等学校教育改革の推移

※主な取組

